

Value Conference 2026

ネットワークパートナーガイド / 募集概要

価値創造を担う実務者と出会い、
知見を届け、次の協働を生み出す 2 日間

2026.10.20 (Tue) - 21 (Wed)

会場: パシフィコ横浜会議センター

バンケット: ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

SJVE Value Conference Committee

Think Beyond.

VALUE CONFERENCE 2026

変わらない組織を、 突破する。

視点と思考を得る **2** 日間

10.20^{TUE} — 10.21^{WED}

パシフィコ横浜 ネットワーキング・イベント
インターコンティネンタルホテル横浜

広告を出すだけの協賛ではなく、 価値実現の知見を共有するパートナーへ

Value Conference 2026 では、協賛企業を「スポンサー」ではなく、
ネットワークパートナーと位置づけています。

ネットワークパートナーは、自社の技術、方法論、サービス、実践知を、価値創造に取り組む参加者へ届け、
対話を通じて新たな接点と協働の可能性を生み出す存在です。

発信する

発表・展示・公式レポートを通じて知見を届ける

対話する

経営者、技術者、変革推進者、専門家と直接話す

次につなげる

顧客候補、協業先、採用候補との継続的な関係をつくる

A パートナー 880,000 円（税込）	B パートナー 440,000 円（税込）
プレゼンテーション（30 分） + 展示 自社が持つ技術、方法論、実践知、課題認識を発表 いただくとともに、展示ブースにおいて参加者と 直接対話していただけます。 発表内容は、大会後に発行予定の公式レポートブ ックにも掲載されます。 公式レポートブックは、自社の知見や取り組みを 紹介するプロモーションツールとしても活用いた だけます。	展示 自社のサービス、技術、ノウハウ、取り組みを 展示いただき、参加者と直接ネットワーキング していただけます。 展示を通じて、価値創造に関心を持つ実践者、 企業担当者、研究者、専門職との接点をつくる ことができます。

※展示スペース: 1 区画(4.5m×1.2m)、テーブル 150cm×60cm 6 本、テーブルカバー 6 本を含みます。

※ その他、展示に伴う什器・備品、延長コード、搬入出等の費用は実費ご負担となります。

日本のものづくりと社会インフラを支える
価値実現のプロフェッショナル・ネットワーク

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 (SJVE) は、60 年以上にわたり、日本における VE の研究・普及と専門人材の育成に取り組んできました。

現在、製造、建設、エネルギー、交通・インフラ、技術開発、教育・研究など、多様な領域の企業・団体と実務者が会員ネットワークを形成しています。

Value Conference 2026 は、この基盤を起点に、VE 実践者だけでなく、経営、DX、AI、プロジェクト、組織変革、人材開発に関わる人々との新たな接点をひらきます。

129

法人・団体会員

95

個人会員

60 年以上

日本における VE 普及・研究の歴史

※会員数は 2026 年 4 月 29 日現在。

SJVE 会員企業・団体の一例

IHI、いすゞ自動車、オムロン、鹿島建設、川崎重工業、首都高速道路、東京ガス、西日本旅客鉄道、パナソニック、日立建機、日立製作所、マツダ、三菱電機、アイシン、大阪ガス、キヤノン、関西電力、日産自動車、フジタ、富士フイルム、リコー など。

※掲載企業・団体が Value Conference 2026 への参加または協賛を予定していることを示すものではありません。

想定参加者	相性のよいパートナー
・ 経営者・事業責任者 ・ VE・設計・開発・調達部門 ・ DX・AI・変革推進部門 ・ PM・PMO・プロジェクト責任者 ・ 人材開発・組織開発担当者 ・ コンサルタント・ファシリテーター ・ 研究者・教育関係者	・ AI・生成 AI、DX、SaaS ・ 設計・開発・技術支援 ・ PMO・プロジェクトマネジメント ・ コンサルティング ・ 人材育成・組織開発 ・ データ分析・意思決定支援 ・ 社会課題・地域課題関連

変わらない組織を突破する、視点と思考を得る 2 日間

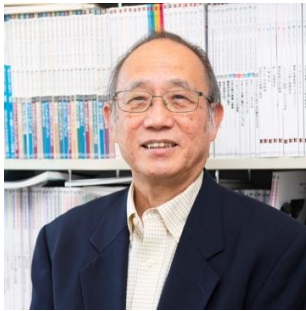
AI、DX、組織改革、イノベーション。

新たな技術や方法を導入しても、組織が変わらなければ価値は実現しません。

Value Conference 2026 は、VE が培ってきた「機能」と「価値」の視点を、戦略、組織、認知、AI、プロジェクト、社会課題へと広げ、変革を前進させる専門職＝Value Professional の未来を探求します。

- Beyond VE:VE から戦略・組織・AI・社会課題へ
- Beyond Knowledge:知識ではなく、新しい視点と問いを持ち帰る
- Beyond Networking:名刺交換ではなく、知見と課題を交換する

基調講演 1 (Day1)



山田英夫

早稲田大学名誉教授

競争しない競争戦略 ～トレード・オン思考～(仮題)

競争に勝つことだけが、競争優位の道なのか。山田氏は「競争しない競争戦略」を提唱し、近年は二律背反を乗り越える「トレード・オン思考」を探究している。本講演では、既存の常識や前提を問い直し、新たな価値を生み出す視点を提示する。

基調講演 2 (Day2)



堀埜一成

株式会社サイゼリヤ 前社長

変わり続ける組織をつくる

サイゼリヤの社長を 13 年間務め、製造、物流、店舗運営、人材育成など、事業を支える仕組みの進化を牽引してきた堀埜氏。本講演では、その実践をもとに、前例や固定観念を乗り越え、変革を前進させるリーダーシップと組織づくりを探る。

基調講演 3 (Day2)



加藤文元

ZEN 大学教授・東京工業大学名誉教授 ZEN 数学センター所長

ものの見方が変われば、世界はどう変わるのか

代数幾何学・数論幾何学を専門とし、現代数学の考え方を社会に伝えてきた加藤氏。数学史や数学者の思想と生涯を題材とした一般向けの著作も多数出版している。本講演では、前提や関係性を捉え直す数学的思考を通じて、ものの見方を変えることが新たな可能性をどうひらくのかを探る。

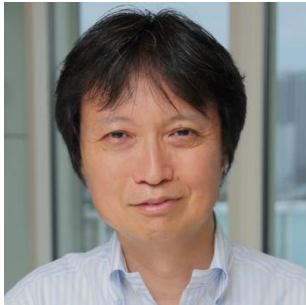
パネルディスカッション (Day2)

Why Can't Organizations Change?

なぜ組織は変わらないのか

前例に縛られ、正しいと分かっているでも動けず、新しいアイデアが失われていくのはなぜか。思考・認知、VE、価値実現、組織変革の専門家が、それぞれの視点から、変革を阻む要因と、変わり続ける組織に必要な条件を議論する。

パネリスト



細谷 功

ビジネスコンサルタント

東芝を経て、アーnst&ヤング、キャップジェミニ、クニエなどの外資系・日系コンサルティング会社で経験を積み、独立。思考のクセ、問題設定、抽象化思考をテーマに、ビジネスパーソンの思考変革を支援している。著書に『地頭力を鍛える』『具体と抽象』『メタ思考トレーニング』など多数。



澤口 学

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 教授

製造企業の研究開発・設計部門を対象に、次世代事業戦略や価値創造設計の方法論を研究・教育。VE、TRIZ、イノベーション・マネジメントを専門とし、日本におけるVEの研究・教育・普及を牽引している。日本TRIZ協会副理事長として、創造的問題解決や技術開発の方法論の普及にも取り組む。



伊藤 学

東京ガス株式会社 資材部調達企画グループ VE 推進チームリーダー

ヤマハ発動機グループで、部品バイヤー、ASEAN での開発購買・ソーシング、ベトナムでの開発購買マネジメントを経験。リーマンショック後の構造改革や海外拠点のコスト改革にも携わる。2018 年より東京ガスにて、調達改革、VE 活動、取引先改善活動を推進し、多様なテーマへの VE 適用を通じて価値創造を実践している。



芝本 秀徳

VDAI 代表。日本 VE 協会 バリューデザインアカデミー アカデミー長

VE、プロジェクトマネジメント、DX を横断し、企業の戦略実行、プロジェクト推進、組織変革を支援。経営課題を実行可能なテーマへ分解し、関係者の認識をそろえながら、プロジェクト設計とファシリテーションで変革を前進させている。日本 VE 協会 VDA アカデミー長として、次世代の VE 教育、資格制度、専門職育成の設計にも取り組む。

Networking Banquet ネットワーキング・バンケット



Connect, Discuss, and Create

価値創造を担う人々と、次の協働につながる対話を

講演者、発表者、参加者、ネットワークパートナーが、立場や組織を超えて交流する特別な場です。

経営者、研究者、技術者、変革推進者、VE 実践者など、多様な専門性を持つ参加者と、展示や発表の場だけでは得られない、より深い対話と関係形成ができます。

自社の技術や知見を伝えるだけでなく、参加者が抱える課題や関心に触れ、新たな接点や協働の可能性を見いだす。ネットワークパートナーにとって、カンファレンス参加の価値を広げる交流の場です。

Day1 17:30～

会場：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

ボールルーム

パシフィコ横浜に隣接する、横浜を代表する国際ホテルのボールルームを会場とします。落ち着きと格式を備えた空間で、講演者、参加者、ネットワークパートナーが食事を共にしながら、ゆっくりと対話を深めます。

参加までの流れ・問い合わせ

1. お問い合わせ
2. 個別説明
3. パートナー区分の決定
4. 申込書の提出
5. 発表・展示内容の確認
6. 当日参加
7. 公式レポートブック制作

お問い合わせ先 : SJVE Value Conference Committee conf@sjve.org

主催 : 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

※2026 年 7 月版／記載内容は今後変更される場合があります